



2022年10月分

 TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
 東京税関羽田税関支署


羽田空港貨物取扱量

総取扱量は9ヵ月連続減、積込量は10ヵ月連続減、取卸量は8ヵ月連続減



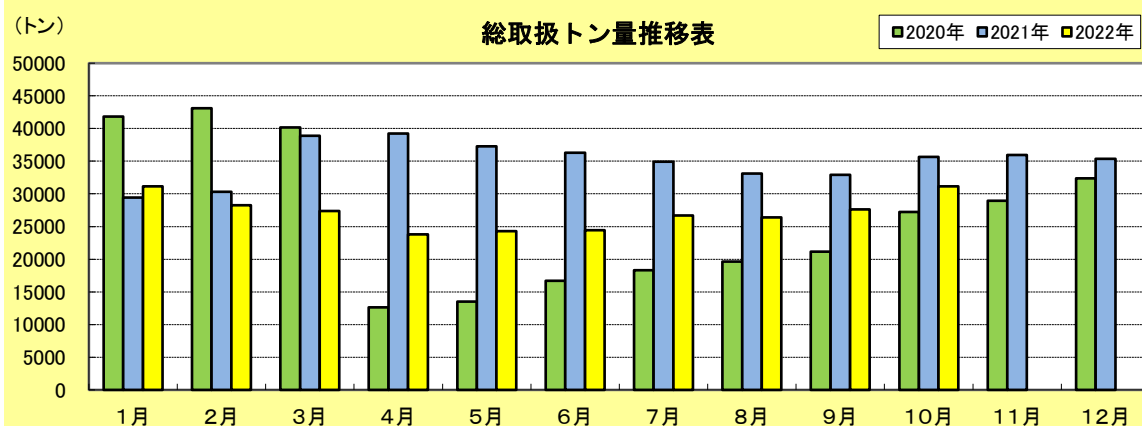
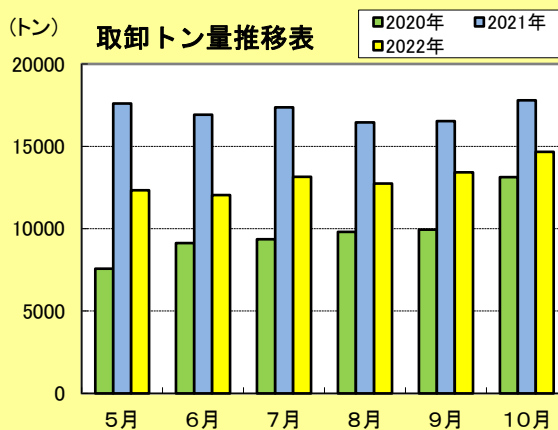
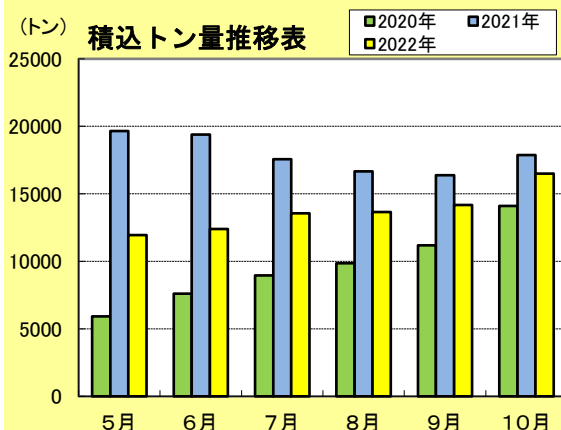
概要

2022年10月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 31,168トン(前年同月比 12.6%減)

積込量 16,496トン(同 7.7%減)

取卸量 14,672トン(同 17.6%減)

 となり、前年同月比でみると、総取扱量は9ヵ月連続、積込量は10ヵ月連続、
 取卸量は8ヵ月連続でマイナスとなった。


1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出力

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 919トン(前年同月比 23.3%減、シェア 11.1%)

その他地域通関 7,385トン(同 15.1%減、同 88.9%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関は8ヵ月連続、その他地域通関は9ヵ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 4,003トン(前年同月比 20.4%減、シェア 46.5%)

その他地域通関 4,597トン(同 24.7%減、同 53.5%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、8ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 8,192トン(前年同月比 2.7%増)

取卸量 6,072トン(同 9.0%減)

となり、前年同月比でみると、積込量は11ヵ月ぶりにプラス、取卸量は10ヵ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年10月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 963トン(前年同月比 9.7%減、シェア 24.1%)

ドライ貨物 3,040トン(同 23.3%減、同 75.9%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等31.6%(前年同月比16.3%減)、水産物17.7%(同42.2%減)、果物18.9%(同57.9%増)、植物(切花等)17.6%(同43.7%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年10月			2021年10月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	4,003	79.6%	100.0%	5,029	129.8%	100.0%
生鮮	963	90.3%	24.1%	1,066	121.4%	21.2%
ドライ	3,040	76.7%	75.9%	3,963	132.2%	78.8%